



寄付金速報＝米山月間へのご支援に感謝！＝

10月までの寄付金は前年同期と比べ2.3%増、約1,150万円の増加となりました。8～9月は低調だったものの、10月には100万円以上のご送金をいただいたクラブが19クラブ、計2,900万円(前年度は18クラブから計2,300万円)となったほか、3名からそれぞれ100万円ずつの大口寄付をいただきました。その結果、普通寄付金が1.3%増、特別寄付金が3.0%増と、一気に増加へと転じることができました。米山学友を含め、多くのロータリアンの方々からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り2カ月を切りましたが、今後とも引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2014学年度奨学金 申込み状況

2014学年度の米山記念奨学金(学部・修士・博士課程／地区奨励)には、指定校531校(昨年度500校)から1,296人(同1,490人)が推薦されました。被推薦者の国籍・地域別割合は、中国が59.5%(前年度比▲1.9%)、韓国13.6%(▲1.1%)、台湾4.3%(+1.1%)、その他が22.6%(+1.9%)となり、前年に引き続き中国・韓国の割合が減少し、台湾およびその他の国籍が増加しました。その他の国籍で多かったのは、ベトナム、マレーシア、モンゴルでした。課程別では、博士課程が21.1%(▲2.2%)、修士課程41.7%(▲1.3%)、学部課程35.6%(+3.1%)で、学部生の割合が一層増加しています。また、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」は、6地区10校から計19人の応募がありました。上記とは別に、現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には9地区13クラブから、また、試行2年目となる「海外応募者対象奨学金(個人応募)」には、94件の応募(採用枠は15地区最大3人)がありました。

11月中旬から、各地区へ応募書類を発送し、1月下旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者544人(2013年11月現在)が決定します。

ネパールに米山学友会が誕生！！

ネパールの首都・カトマンズ市内で、10月19日、ネパール米山学友会の創立総会が開催されました。海外米山学友会としては、台湾、韓国、中国、タイに続いて5番目です。

当日は、ネパールの米山学友15人、日本のロータリアンや関西米山学友会役員ら11人のほか、浜田清彦在ネパール日本国大使館一等書記官ら来賓を含む約40人が出席。初代会長には、スレス・ダス・シュレスタさん(1994-96／大阪天王寺RC、現在カトマンズRC会員)、副会長には、ビジャヤ・パントさん(1995-97／広島東南RC)、そのほか5人の役員が選任されました。スレス会長は「米山記念奨学金のおかげで、ネパールには農業をはじめ各分野のリーダーとして活躍する学友が大勢います。今後は全員と連絡を取り合い、一丸となって日本とネパールの懸け橋となるよう頑張りたい」と、抱負を語りました。